

2024年2月期 第3四半期決算説明会

株式会社ティーケーピー(証券コード：3479)

2024年1月15日（月）

TKPガーデンシティPREMIUM京橋



目次 CONTENTS

2024年2月期 第3四半期 連結決算概要

| | |
|--------------|----|
| 決算・直近事業進捗サマリ | 2 |
| 連結決算概要 | 3 |
| 事業概況 | 11 |

事業戦略アップデート

| | |
|-----------------|----|
| 新規施設出店・増床 トピックス | 16 |
| Q4～来期に向けた経営方針 | 22 |

| | |
|----------|----|
| Appendix | 25 |
|----------|----|

決算・直近事業進捗サマリ

24年2月期 Q3連結決算

- 貸会議室事業にて内定式やセミナー等の対面需要が本格回復。
また、宿泊事業も稼働・単価ともに好調となり
通年で一番の繁忙期である**Q1を超えた売上高**で着地
- 新型コロナの5類移行による懇親会の再開が順調に推移し
Q3会計期間の**料飲売上高はコロナ前20年2月期 同期間の約7割**まで回復
- Q1・Q2に続き**経常利益・四半期純利益は過去最高**を継続中

経営・事業トピックス

- 積極出店継続のほか、2025年開業予定「アパホテル大分駅前(仮)」のFC契約を締結

2024年2月期 第3四半期 連結決算概要

2024年2月期Q3 連結損益計算書

23年2月のリージャス売却に伴い、売上高およびEBITDAまでの利益が前期比で減少するも、営業利益以下段階利益は大幅に増加。引き続き力強い対面イベントの需要回復を背景に

Q3累計の経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高となった。

| | 2023年2月期 | | | | 2024年2月期 | | | | 前年同期比 増減率 | 2024年2月期 業績予想 |
|-------------------------|----------|--------|--------|--------|----------|-------|-------|--------|--------------|------------------|
| | Q1 | Q2 | Q3 | 累計 | Q1 | Q2 | Q3 | 累計 | | |
| 売上高 | 13,180 | 12,474 | 12,996 | 38,651 | 9,022 | 8,727 | 9,653 | 27,403 | △29.1% | 36,300 |
| 売上総利益 | 4,358 | 3,897 | 4,075 | 12,331 | 3,748 | 3,324 | 3,597 | 10,669 | △13.5% | — |
| 売上比 | 33.1% | 31.2% | 31.4% | 31.9% | 41.5% | 38.1% | 37.3% | 38.9% | +7.0pt | — |
| 販管費 | 3,143 | 3,184 | 3,232 | 9,561 | 2,000 | 2,313 | 2,426 | 6,740 | △29.5% | — |
| EBITDA | 2,552 | 2,072 | 2,222 | 6,847 | 2,067 | 1,341 | 1,513 | 4,922 | △28.1% | — |
| 営業利益 | 1,215 | 712 | 842 | 2,770 | 1,747 | 1,010 | 1,170 | 3,928 | +41.8% | 5,400 |
| 売上比 | 9.2% | 5.7% | 6.5% | 7.2% | 19.4% | 11.6% | 12.1% | 14.3% | +7.2pt | 14.9% |
| 経常利益 | 1,056 | 594 | 655 | 2,306 | 1,758 | 888 | 1,237 | 3,884 | +68.4% | 5,000 |
| 親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益 | 393 | △496 | △2,123 | △2,226 | 4,628 | 739 | 776 | 6,144 | - | 6,700 |

※EBITDAは営業利益に減価償却費、のれん償却費、長期前払費用償却及び顧客関連資産等の無形固定資産償却費を加算して算出

※2023年2月1日の全株式譲渡により、2023年2月期の日本リージャスホールディングス株式会社の連結組入期間は11カ月のみ

※日本リージャスホールディングス株式会社売却に伴う損失への税効果会計適用により、2024年2月期第1四半期決算において法人税等調整額+32億円を計上

2024年2月期Q3 連結損益計算書（リージャスを除いた前期業績との比較）

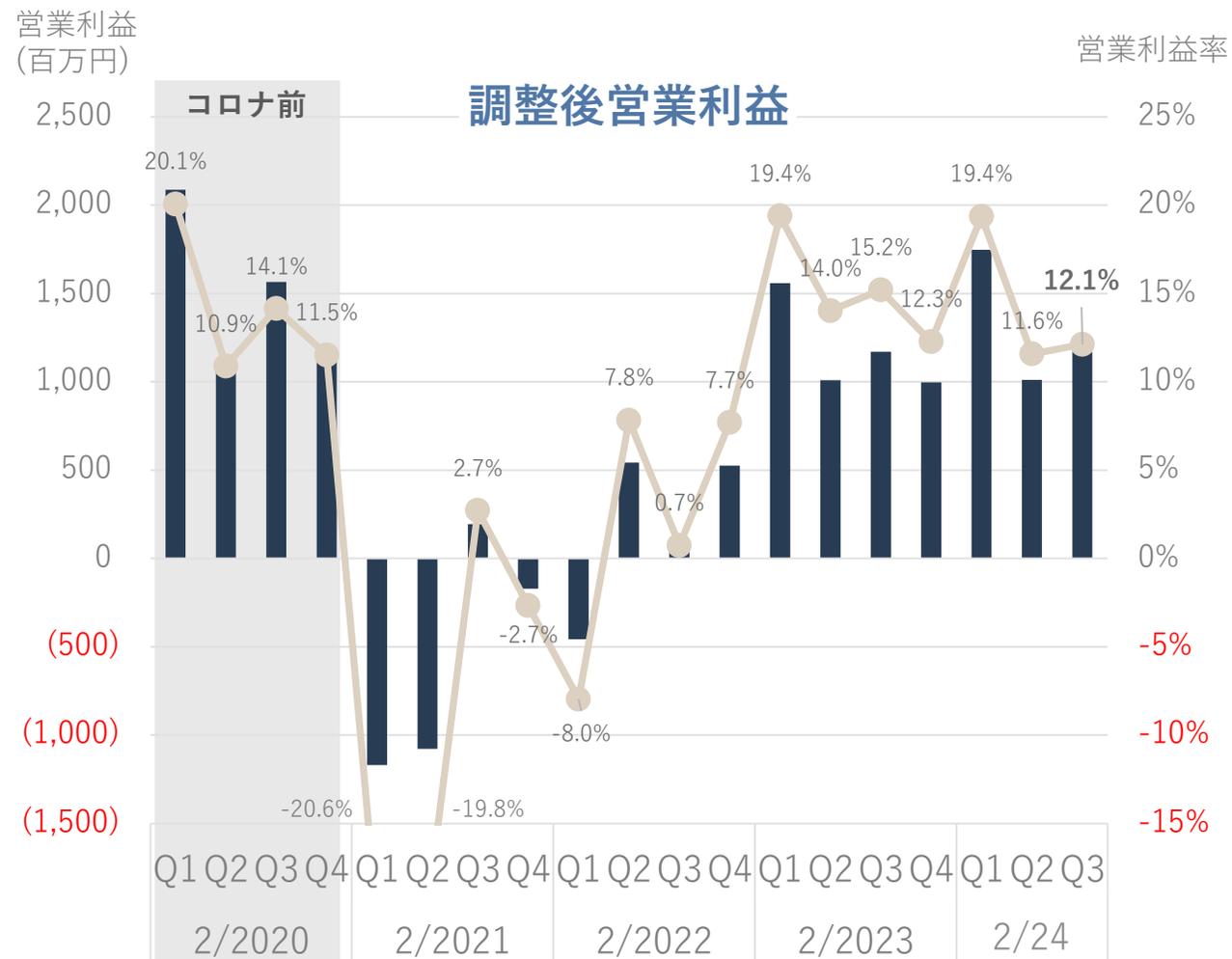
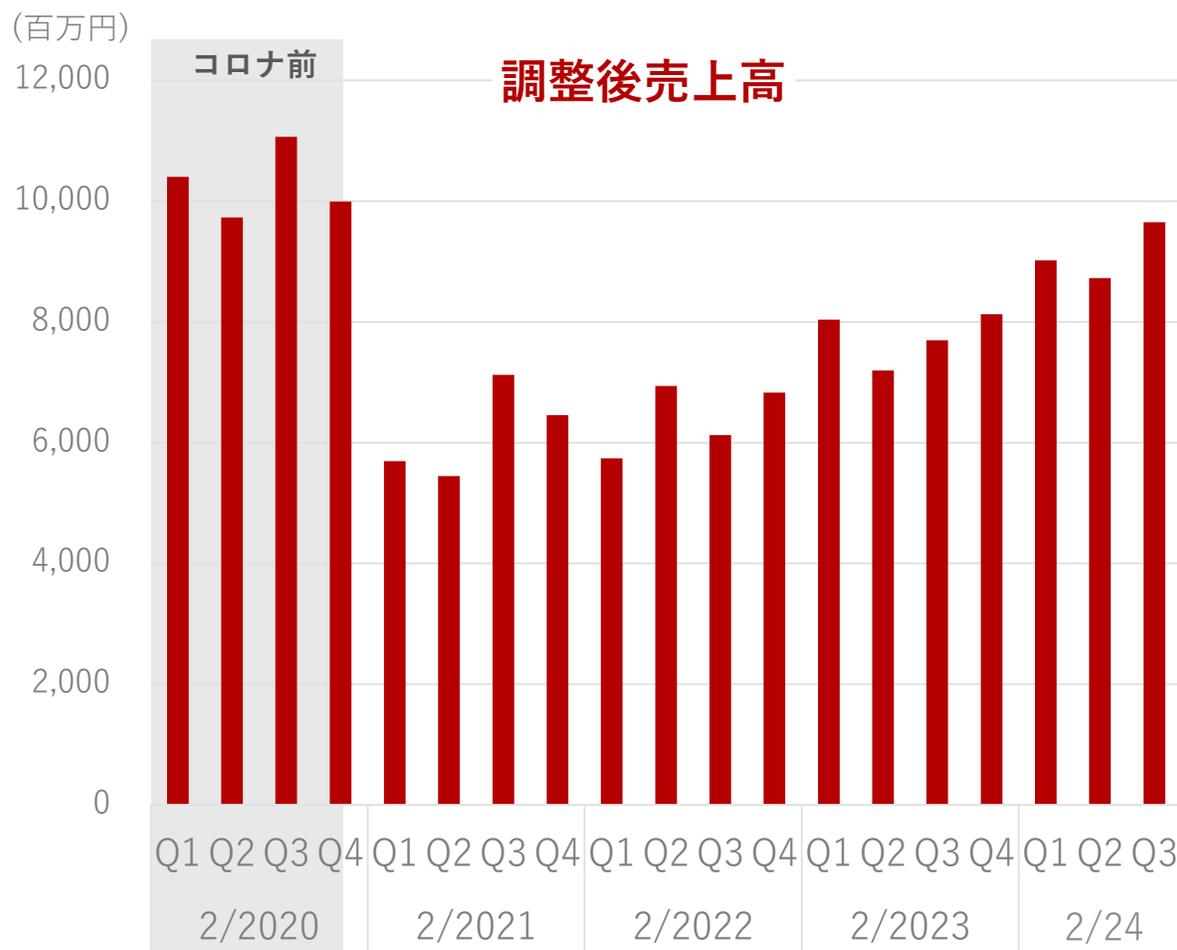
急速な料飲の需要回復による粗利ミックスの変化により売上高総利益率は当期Q2比で低下となるも、四半期**売上高が繁忙期のQ1を上回り着地**。人材・システム投資を積極的に推進しながらリージャスを除いた前期比で**増収増益を継続**。

| (百万円) | 2023年2月期 (リージャスを除いた数値) | | | | 2024年2月期 | | | | 前年同期比 増減率 | 2024年2月期 業績予想 |
|--------|---------------------------|-------|-------|--------|----------|-------|-------|--------|--------------|------------------|
| | Q1 | Q2 | Q3 | 累計 | Q1 | Q2 | Q3 | 累計 | | |
| 売上高 | 8,040 | 7,195 | 7,698 | 22,934 | 9,022 | 8,727 | 9,653 | 27,403 | +19.5% | 36,300 |
| 売上総利益 | 3,335 | 2,823 | 3,026 | 9,185 | 3,748 | 3,324 | 3,597 | 10,669 | +16.1% | — |
| 売上比 | 41.5% | 39.2% | 39.3% | 40.1% | 41.5% | 38.1% | 37.3% | 38.9% | △1.1pt | — |
| 販管費 | 1,775 | 1,814 | 1,856 | 5,446 | 2,000 | 2,313 | 2,426 | 6,740 | +23.8% | — |
| EBITDA | 1,879 | 1,331 | 1,503 | 4,713 | 2,067 | 1,341 | 1,513 | 4,922 | +4.4% | — |
| 営業利益 | 1,559 | 1,009 | 1,170 | 3,739 | 1,747 | 1,010 | 1,170 | 3,928 | +5.1% | 5,400 |
| 売上比 | 19.4% | 14.0% | 15.2% | 16.3% | 19.4% | 11.6% | 12.1% | 14.3% | △2.0pt | 14.9% |
| 経常利益 | 1,504 | 847 | 990 | 3,342 | 1,758 | 888 | 1,237 | 3,884 | +16.2% | 5,000 |

※EBITDAは営業利益に減価償却費、のれん償却費、長期前払費用償却及び顧客関連資産等の無形固定資産償却費を加算して算出

調整後※連結売上高/営業利益 四半期推移

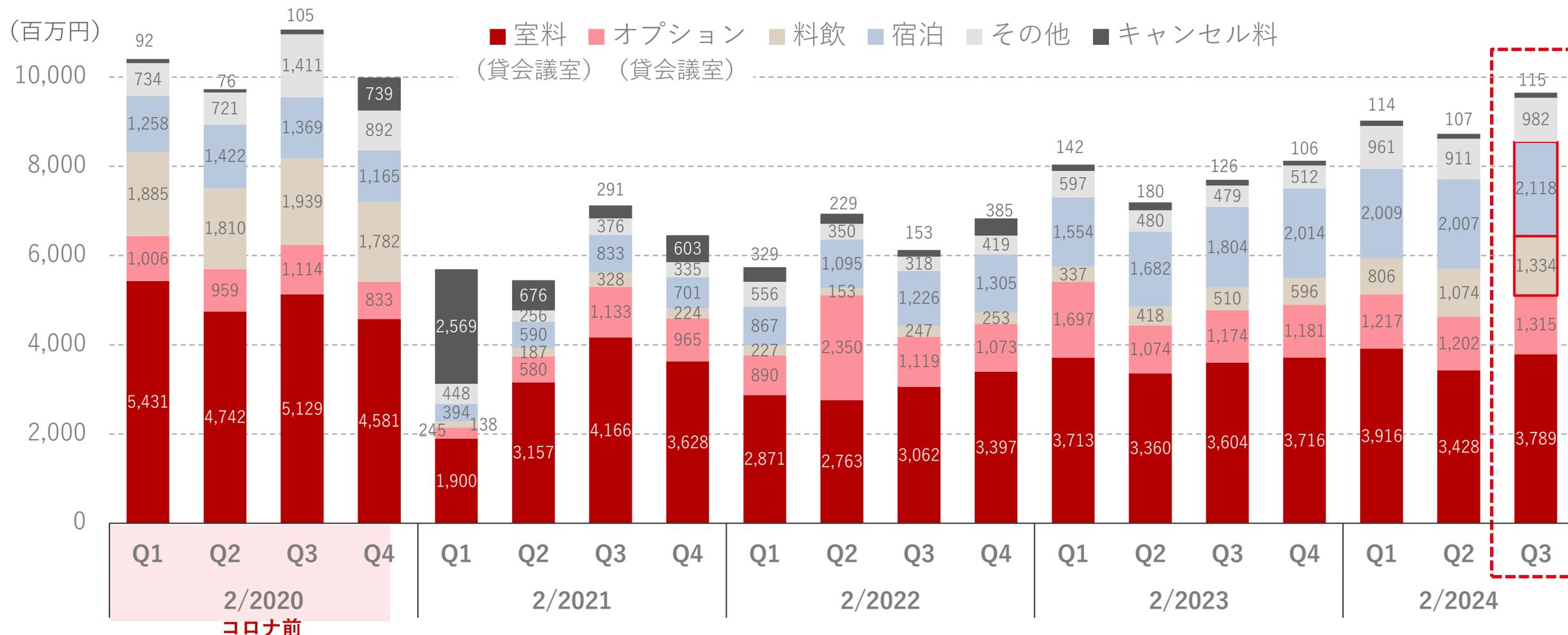
売上高は2021年2月期のコロナ禍の底から堅調に回復中。前期は新規出店や人員増が抑制された一方、今期は一段の需要回復を見越した積極出店・事業拡大のためのコストを積極投下している中でも、増収増益を継続



※2023年2月に売却したリージャス事業を除いた連結業績

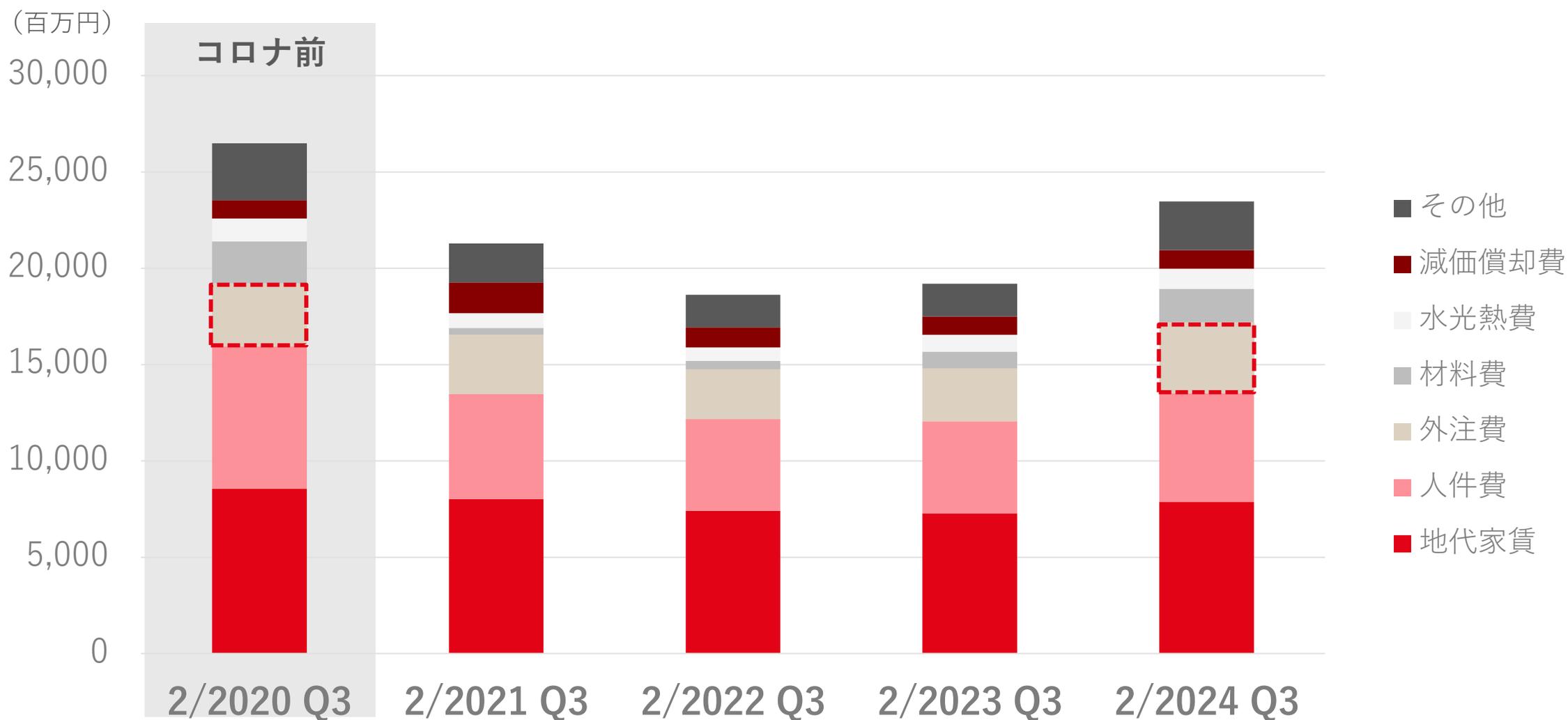
サービス別 調整後※連結売上高 四半期推移

サービス全体で増収傾向。特に2023年5月の新型コロナの5類移行を起点とした大型の懇親会の再開により、コロナ禍から回復が遅れていた料飲の売上高が伸張。また、インバウンドや国内旅行の回復を背景に宿泊施設の稼働が好調となっている



調整後※連結営業費用推移（Q3連結累計期間）

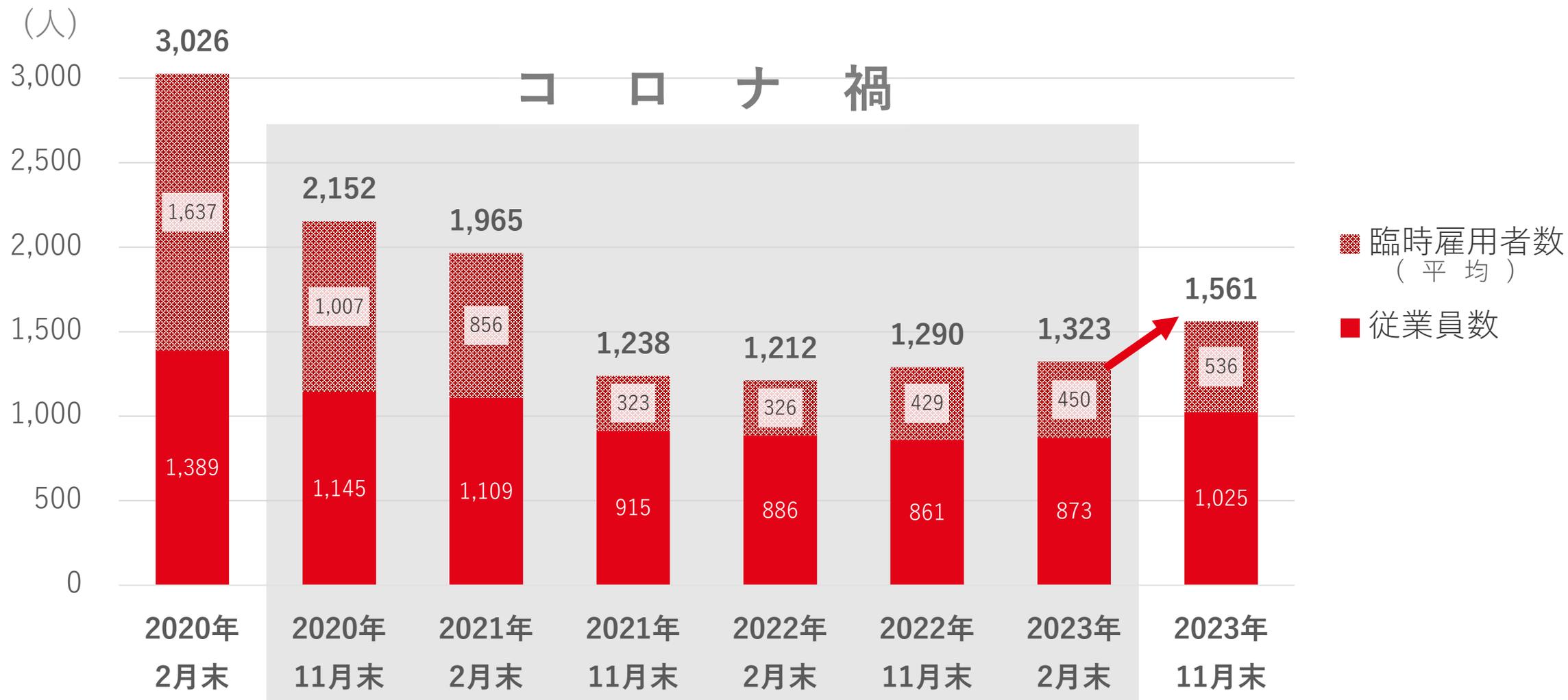
営業費用構造はコロナ前と概ね同様となっているが、コロナ前はなかったシステム投資費用が発生し、外注費の売上高比率が一時的に増加。今期中に一定目途がつく見込み



※2023年2月に売却したリージャス事業を除いた連結業績

従業員数推移(日本・台湾リージャスを除く)

前期末より約20%の人員増となるも、未だコロナ前の5割程度。従業員一人当たり売上高および売上高人件費率はコロナ前より改善しており、効率的な事業運営ができています。システム投資によるさらなる効率性向上で人件費率を適切にコントロールしていく



2024年2月期Q3 連結貸借対照表 キャッシュフロー計算書

前期末と比べ、政策投資を含む事業投資や繰延税金資産の計上により固定資産が増加。
また、有利子負債の減少により前期末の上場来最高 **自己資本比率**を更新し**52.4%**へ上昇。
引き続き高い財務健全性を確保

| (百万円) | 2023年2月期末 | 2024年2月期Q3 | 前期末比 |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|
| 流動資産 | 38,301 | 34,719 | △3,581 |
| （現預金） | 32,661 | 28,399 | △4,261 |
| （売掛金） | 3,464 | 4,744 | +1,280 |
| 固定資産 | 33,788 | 39,389 | +5,601 |
| （有形固定資産） | 23,765 | 23,483 | △281 |
| 資産合計 | 72,089 | 74,109 | +2,019 |
| 流動負債 | 12,467 | 10,372 | △2,095 |
| 固定負債 | 26,753 | 24,804 | △1,948 |
| 負債合計 | 39,221 | 35,177 | △4,044 |
| （有利子負債残高） | 32,344 | 28,934 | △3,410 |
| 純資産合計 | 32,868 | 38,932 | +6,063 |
| 負債・純資産合計 | 72,089 | 74,109 | +2,019 |
| 自己資本比率 | 45.5% | 52.4% | +6.9pt |

2024年2月期 Q3 事業概況

出退店実績

24年2月期Q3は、契約満了等に伴い3施設が退店・減床となった一方、3施設を新規出店し、既存施設の増床も含め1,737坪を新規に供給。

9月「TKPガーデンシティPREMIUM品川HEART」、10月「スター貸会議室虎ノ門法経ホール」「TKPガーデンシティPREMIUM大阪梅田新道」の契約・運営を開始。

既に今期目標の1万坪の増床・新規出店を達成するも、さらなる事業拡大のためパイプラインを獲得中

| TKPJ | 2022年 2月期 通期 | 2023年 2月期 通期 | 2024年 2月期 |
|------|--------------------|--------------------|--------------|
|------|--------------------|--------------------|--------------|

| | | | |
|-----------|-------|-------|-------------------------------|
| 新規 出店数 | + 7施設 | + 4施設 | + 12施設 (Q3 : + 3施設) |
|-----------|-------|-------|-------------------------------|

| | | | |
|-----|----------|----------|-------------------------------------|
| 増床数 | + 2,744坪 | + 8,927坪 | + 12,188坪 (Q3 : + 1,737坪) |
|-----|----------|----------|-------------------------------------|

| | | | |
|-----|--------|-------|-------------------------------|
| 退店数 | △ 20施設 | △ 5施設 | △ 18施設 (Q3 : △ 3施設) |
|-----|--------|-------|-------------------------------|

| | | | |
|-----|----------|----------|-----------------------------------|
| 減床数 | △ 8,182坪 | △ 1,772坪 | △ 10,809坪 (Q3 : △ 374坪) |
|-----|----------|----------|-----------------------------------|

宿泊研修施設であるレクトーレ5,258坪の減少(Q1)を含む

Q3出店施設



ガーデンシティPREMIUM
大阪梅田新道

+ 341坪



ガーデンシティPREMIUM
品川HEART

+ 337坪



スター貸会議室
虎ノ門法経ホール

+ 37坪

グレード別 施設数・会議室数 (2023年11月末時点)

| グレード | | 2022.2期末 | 2023.2期末 | 2024.2期3Q |
|---|--|--|--|--|
|  | エスクリ社との 共同ブランド シルク CIRQ | 施設数 24 室数 51 面積(坪) 19,776 | 施設数 24 室数 51 面積(坪) 19,776 | 施設数 24 室数 51 面積(坪) 19,776 |
|  | 大型・新築の オフィスビル ガーデンシティ PREMIUM (GCP) | 施設数 26 室数 304 面積(坪) 15,833 | 施設数 25 室数 295 面積(坪) 15,392 | 施設数 30 室数 332 面積(坪) 18,184 |
|  | 大型・中古ホテル バンケット ガーデンシティ (GC) | 施設数 37 室数 365 面積(坪) 16,244 | 施設数 36 室数 381 面積(坪) 18,012 | 施設数 41 室数 465 面積(坪) 26,394 |
|  | 大型・中古の オフィスビル カンファレンス センター (CC) | 施設数 64 室数 759 面積(坪) 29,234 | 施設数 64 室数 764 面積(坪) 29,294 | 施設数 58 室数 696 面積(坪) 28,051 |
|  | 中型・中古の オフィスビル ビジネス センター (BC) | 施設数 30 室数 209 面積(坪) 5,338 | 施設数 28 室数 207 面積(坪) 5,270 | 施設数 24 室数 196 面積(坪) 4,998 |
|  | 小型・中古の オフィスビル スター 貸会議室 | 施設数 27 室数 53 面積(坪) 1,602 | 施設数 28 室数 53 面積(坪) 1,588 | 施設数 29 室数 57 面積(坪) 1,339 |
| 貸会議室小計 | | 施設数 208 室数 1,741 面積(坪) 88,027 | 施設数 205 室数 1,751 面積(坪) 89,332 | 施設数 206 室数 1,797 面積(坪) 98,742 |
| アパホテル・レクトーレ・石のや等 宿泊施設 | | 施設数 30 会議室数 222 面積(坪) 44,729 | 施設数 32 会議室数 237 面積(坪) 50,580 | 施設数 31 会議室数 165 面積(坪) 42,694 |
| TKP貸会議室 + 宿泊施設 合計 | | 施設数 238 室数 1,963 面積(坪) 132,756 | 施設数 237 室数 1,988 面積(坪) 139,912 | 施設数 237 室数 1,962 面積(坪) 141,437 |

全国**237**施設

契約面積**14万**坪超の

スペースを提供

※当四半期末に一部施設のカウント定義を見直したことにより、上記表の2024年2月期Q3の数値から前四半期公表資料内にある同ページの2024年2月期Q2の数値を差し引いた数値が、当四半期資料12ページに記載の増減施設数とは一致しません。

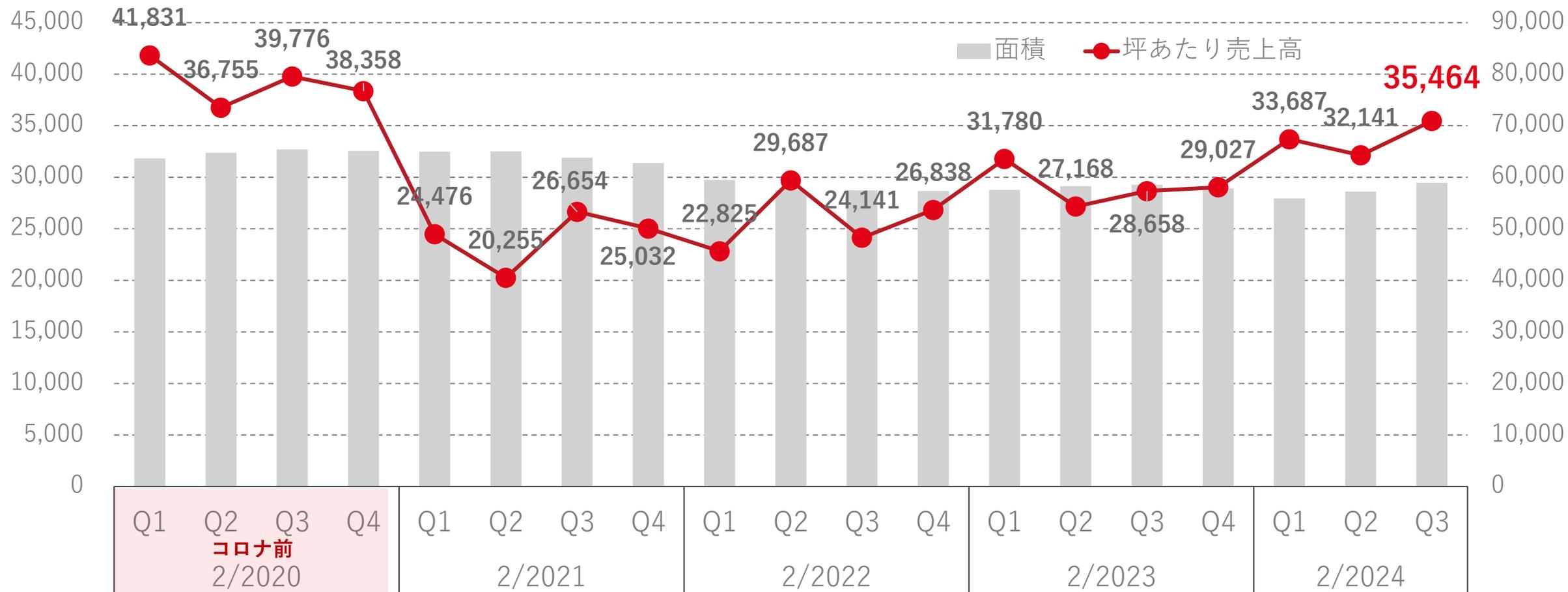
貸会議室事業 KPI推移 – 坪あたり売上高

会議室面積を増床させながらも料飲売上の寄与により、**前年同四半期(前期Q3)比 + 6,806円**と伸長し、
コロナ前の水準に近づいた

坪あたり売上高/月
四半期平均(円)

坪あたり売上高と有効会議室面積の推移※

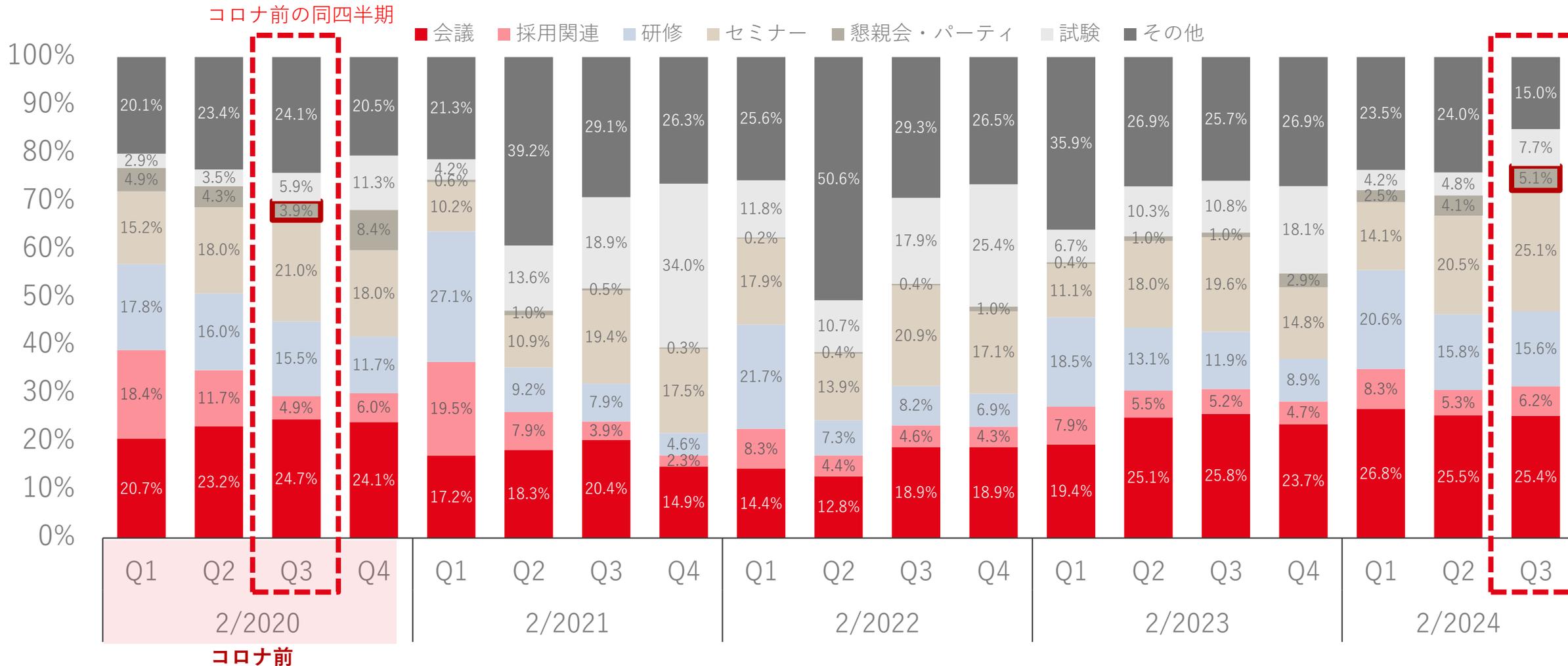
有効会議室
面積(坪)



※坪あたり売上高：会議室の室料、オプション料、料飲売上等会議室利用に付随する売上高の合計を有効会議室面積で割った数値
有効会議室面積：会議室としてレンタル可能な面積の合計（施設の共用部分や宿泊施設の客室等、会議室として利用されない面積は含まない）

貸会議室事業 利用用途の売上高割合推移

季節性によりセミナーの割合が増加。懇親会需要が本格的な回復基調となり、懇親会・パーティの利用用途割合がコロナ前同水準を上回った。年末の納会・忘年会案件も順調に進行中



※貸会議室は汎用性が高く、個別カテゴリーに当てはめることが困難な「その他」の利用用途が多い。「その他」の利用用途には、臨時オフィスとしての長期貸し、株主総会、記者会見、その他各種イベントやコロナ禍の新型コロナのワクチンセンターとしての利用等を含む。

事業戦略アップデート

新規施設出店・増床 トピックス

4年ぶりの関西出店 「TKPガーデンシティPREMIUM大阪梅田新道」オープン

11/1
出店



大規模な再開発が進む大阪都心にて500㎡の大ホールを備えた拠点を新規にオープン。大型研修や料飲を伴う懇親会を中心に受注獲得が進む

「TKPガーデンシティ京都タワーホテル」増床 および新横浜への新規出店が決定

TKPガーデンシティ京都タワーホテル



▲2フロア**588**坪を増床し計6フロア総面積**1,359**坪の大型施設へリニューアル。新たな看板も設置

TKP新横浜カンファレンスセンター



▲新横浜エリアに3施設目
全5室**241**坪をオープン決定

11/24テレビ東京系列「ガイアの夜明け」に TKPの出店状況が取り上げられました



止まらない東京大改造計画と知られざる舞台裏

東京の大規模再開発は、デベロッパーや投資家にとっては利益拡大のチャンスだが、近隣の住民や東京都民にとっては、環境や景観が変わるリスクも伴っている。さらに大量の新規オフィスビルが供給され懸念される「2023年問題」。その裏で、ある不動産関連会社は「今が仕入れのチャンス」と、空きオフィスの大量確保に動いていた。様々な波紋を広げながらも、東京の未来を賭けて進行する巨大再開発プロジェクト。その最前線と、都心一等地の不動産を巡る攻防の舞台裏に密着した。

https://www.tv-tokyo.co.jp/gaia/backnumber4/preview_20231124.html



大分駅前に建設予定のアパホテル開業に向け、 アパホテルとフランチャイズ契約を締結

2025年10月
開業予定



2024年3月着工、2025年10月のオープンに向け、新たに
建設・運営予定のアパホテルのフランチャイズ契約を締結

施設概要※予定

| | |
|-------|----------------------------|
| 所在地 | : 大分県大分市金池町1丁目8番地1 |
| 構造・規模 | : 鉄骨造地上12階建 |
| 敷地面積 | : 680㎡ |
| 延べ床面積 | : 4,706㎡ (1,423坪) |
| 計画客室数 | : 255室 |
| その他施設 | : レストラン兼会議室、男女大浴場、ルーフトップバー |

スケジュール※予定

| | |
|-----|--------------------|
| 設計 | : 2023年5月～2023年11月 |
| 起工式 | : 2024年3月6日 |
| 着工 | : 2024年3月 |
| 竣工 | : 2025年9月 |
| 開業 | : 2025年10月予定 |



TKPユーザー会を開始

TKPが企画する独自の人材育成コミュニティ・プログラム

TKPユーザー会

人材育成担当者 交流コミュニティ

Produced by TKP

- 参加費無料
- 完全予約制



「コロナ禍で社外交流の機会が減った」「他者の取り組みを知りたい」等のユーザーの声をもとに、TKPが人材育成担当者のコミュニティを立ち上げ

【第1回】

先着50名様(予定)

新入社員の育成における課題と取り組み

2024年2/7(水) 14:00~17:00

TKPユーザー会

TKP Business Seminar

for Employee Success Support

従業員育成をサポートする
TKPのビジネスセミナー



TKPが積み上げた経験と人的ネットワークで独自の人材育成プログラムを提供開始

【セミナー例】

- 元ソニー新規事業担当者の「失敗しない新規事業開発のポイント」
- 元キーエンス営業担当者による「成果に結びつく営業力セミナー」
- 元吉本お笑い芸人のフィナンシャルプランナーによる「お金に振り回されないマネープランセミナー」等

事業戦略アップデート

Q4～来期に向けた経営方針

Q4～来期に向けた経営方針・メッセージ

- 人員増強・料飲事業の内製化やシステム投資等、
今期中はコロナ禍で縮小した事業基盤の再強化および
今後の効率化に向けた取り組みに注力する。
＝来期以降の収益拡大に向けた経営基盤を整備
- 足元の活動としてTKP独自のコミュニティプログラムの開始や
新規ホテル&リゾートプロジェクトの推進等、
オフィス/不動産に囚われない高付加価値事業モデルにつながる
取り組みを着実に実施
- 現時点で中期経営計画を変更するに値する事業環境の変化や
需要に対する見立ての変更はなし

Q 4 ~ 来 期 進 捗

- 料飲事業部の内製化は人員補充/調理場拡大を継続して推進中。来期4月の繁忙期に内製化率6割を見込む
- 来期Q1に向けた受注の積上げは好調に推移。既に前期の実績水準は固く見込んでおり、前期に回復途上であった懇親会の実施に対する顧客の感触も前向きである

通期連結営業利益^{※1} 中期経営計画



(百万円)

15,000

コロナ禍を乗り越え
TKP本格始動

さらなる高みを目指し
2026年2月期の
営業利益100億円^{※2}へ

10,000

5,000

0



※1：2023年2月に売却したリージャス事業を過去実績数値から除いた連結業績

※2：新規事業の業績貢献も入れた目標数値

Appendix

新中期経営計画（2024年2月期-2026年2月期） ※2023年4月13日発表

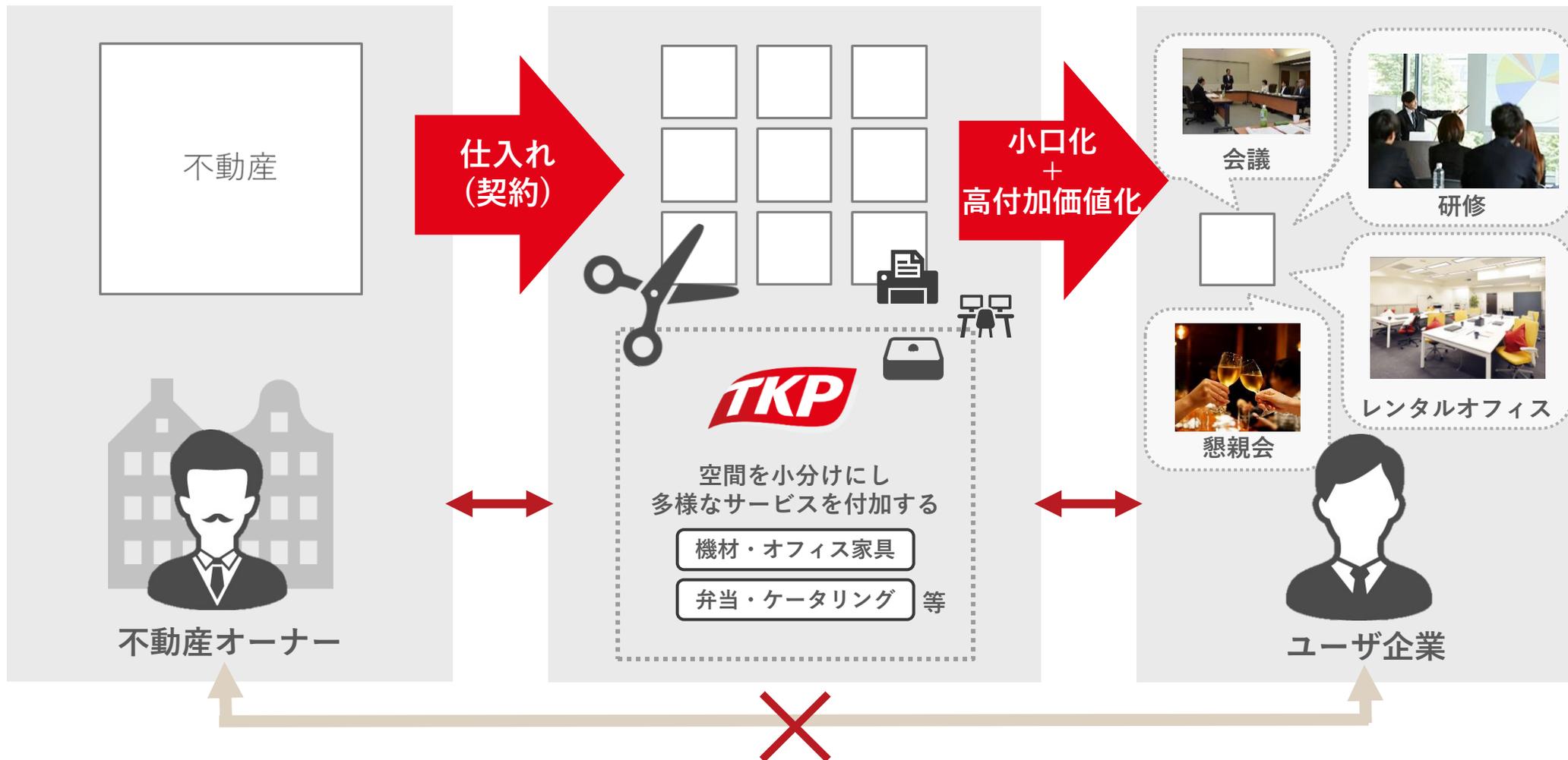
▼連結業績計画

| (百万円) | 2024年2月期 | 2025年2月期 | 2026年2月期 |
|-------------------------|---------------|---------------|----------------|
| 売上高 | 36,300 | 47,500 | 過去最高 57,500 |
| 営業利益 | 5,400 | 過去最高 7,200 | 9,400 |
| (営業利益率) | 14.9% | 15.2% | 16.3% |
| 経常利益 | 過去最高 5,000 | 6,900 | 9,100 |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 過去最高 6,700 | — | — |
| ROE | — | — | 10% |

- 売上高 年平均成長率**23%**
- 24年2月期：金融費用の軽減と前期の税効果持越しにより
経常以下利益段階での過去最高を達成
- 25年2月期：懇親会を含めた貸会議室需要が新型コロナ前に完全回復し
営業利益で過去最高を達成
- 現時点で計画外の新規事業は追加要素として整理
- 3年後**ROE10%達成**を目標とする

ビジネスモデル「空間再生流通」

不動産を保有せずに賃貸借・業務委託等の契約で確保し、小分けして周辺サービスを付加することで、ワンストップで総合的な空間サービスを提供する



契約などの手間をかけずフレキシブルな期間・用途で利用が可能

TKPの競争優位性

貸会議室を主軸に**全国に幅広いネットワークを展開しているのはTKPのみ**。さらに、貸会議室・貸ホールが主軸事業であるが故に、**幅広いオプションサービス・柔軟なオペレーションに秀でている**ため、特に大企業が全国で会場を一括手配する際には、TKPがほぼ唯一の選択肢となる

| | TKP | A社 | B社 | C社 | D社 |
|-----------------|----------------|--------|-------------|-------------|-------|
| 拠点数 (全国) | 237 | 38 | 19 | 15 | 4 |
| 会議室面積 (全国/坪) | 79,000 | 16,000 | 5,000 | 6,200 | 1,200 |
| 拠点数 (東京都内) | 92 | 38 | 13 | 14 | 3 |
| カバー 都道府県数 | 32 | 1 | 4 | 2 | 2 |
| 運営母体 主軸事業 | 貸会議室 | 不動産 | 不動産 | 不動産 | 鉄道 |
| 施設規模 | 小～大ホール まで幅広 | 中～大ホール | 小～中規模 | 小～中規模 | 中規模 |
| 価格帯 | 安価～高級 まで幅広 | 高級 | 安価～ 中価格帯 | 安価～ 中価格帯 | 高級 |

※競合他社は、拠点数や貸会議室としての認知度等をもとに当社が選定し、2023年4～8月の公表データより当社試算/算出。
 ※当社グループの数値は2023年11月末時点。会議室面積はTKP会議室とエスクリ社との共同ブランド「CIRQ」の会議室面積の合計。

ビジネスモデルの特徴

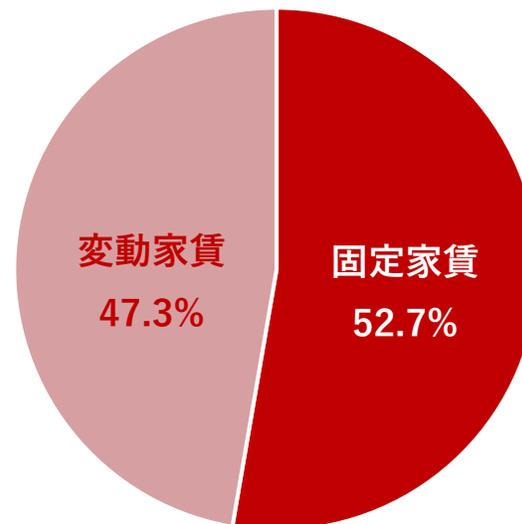
収益性の源泉は、景気後退時等に安価な賃料で仕入れた物件群にある。また、普通借家契約や、途中解約条項を付加した定期借家契約、業務委託契約等を組み合わせ、固定家賃支払リスクを低減させている

▼契約形態

※2023年11月末時点

| 契約形態 | 契約の主な特徴 | 施設数 |
|--------|----------------------------|-------------------------|
| 業務委託契約 | 売上歩合での賃料支払い等 様々な条件設定が可能 | 112施設 (47.3%) |
| 普通借家契約 | 6ヵ月前予告での 解約が可能 | 42施設 (17.7%) |
| 定期借家契約 | 途中解約に 制限が多い | 74施設 (31.2%) |
| 所有権 | 固定賃料が発生しない | 9施設 (3.8%) |

▼費用形態



ガーデンシティ大阪梅田：2,152坪



市ヶ谷カンファレンスセンター：4,058坪



新橋カンファレンスセンター：2,813坪

当社が運営する宿泊施設※の形態（2023年11月末 全20施設）

| 宿泊施設 | 客室数 | オープン | 建物 | 土地 |
|---------------------------|---------|----------|----|----|
| アパホテル〈TKP札幌駅前〉 | 203 | 2014年8月 | 賃借 | — |
| アパホテル〈TKP札幌駅北口〉 EXCELLENT | 105 | 2016年8月 | 賃借 | — |
| アパホテル〈TKP日暮里駅前〉 | 278 | 2016年12月 | 所有 | 所有 |
| アパホテル〈TKP東京西葛西〉 | 124 | 2017年12月 | 賃借 | — |
| アパホテル〈TKP京急川崎駅前〉 | 143 | 2018年6月 | 所有 | 賃借 |
| アパホテル〈TKP仙台駅北〉 | 306 | 2018年10月 | 所有 | 所有 |
| アパホテル〈大阪梅田〉 | 162 | 2019年5月 | 所有 | 所有 |
| アパホテル〈博多東比恵駅前〉 | 206 | 2020年2月 | 所有 | 所有 |
| アパホテル〈福岡天神西〉 | 268 | 2020年5月 | 所有 | 所有 |
| アパホテル〈上野広小路〉 | 215 | 2020年7月 | 所有 | 所有 |
| レクトーレ熱海小嵐 | 20 | 2013年11月 | 賃借 | — |
| レクトーレ箱根強羅 | 23 | 2014年1月 | 賃借 | — |
| レクトーレ軽井沢 | 14 | 2014年7月 | 賃借 | — |
| レクトーレ熱海桃山（2024年拡張予定） | 31 | 2014年7月 | 賃借 | — |
| レクトーレ湯河原 | 108 | 2017年5月 | 所有 | 所有 |
| レクトーレ葉山湘南国際村 | 160 | 2018年4月 | 賃借 | — |
| アジュール竹芝 | 122 | 2017年4月 | 賃借 | — |
| 石のや 伊豆長岡 | 22 | 2015年1月 | 賃借 | — |
| ISHINOYA 熱海 | 22 | 2020年9月 | 賃借 | — |
| TKPサンライフホテル | 310 | 2022年12月 | 賃借 | — |
| 【予定】別府上人ヶ浜公園ホテル（仮称） | 未定 | 2025年 | 未定 | 賃借 |
| 【予定】大分駅前ホテル（仮称） | 255(予定) | 2025年 | 所有 | 賃借 |

※：直営施設のみ掲載

非財務情報

| 項目 | 単位 | 22年2月期 | 23年2月期 |
|-----------------------------|------|--------|--------|
| 1人当たりの研修受講回数 | 回/年 | 1.05 | 1.68 |
| コンプライアンス研修 (情報セキュリティ等含む) | 回/年 | 1.00 | 1.00 |
| 研修プログラム数 | 種類 | 4 | 10 |
| eラーニング 提供数 | 件 | 3 | 19 |
| 男女 賃金差異(女性/男性) | % | 81.0 | 80.3 |
| 平均時間外労働時間 | 時間/月 | 13.1 | 14.8 |
| 有給休暇取得日数 | 日/年 | 17.5 | 19.6 |
| 育児休業取得率 | % | 38.1 | 70.4 |
| 男性 | % | 31.3 | 47.1 |
| 女性 | % | 60.0 | 100.0 |
| 健康診断受診率 | % | 77.5 | 84.5 |
| 女性社員比率 | % | 39.3 | 39.5 |
| 女性管理職比率 | % | 12.1 | 13.2 |
| 中途採用比率 | % | 75.2 | 78.3 |
| 障がい者雇用率 | % | 2.42 | 2.56 |
| 社外役員比率 | % | 66.7 | 62.5 |
| 独立役員比率 | % | 44.4 | 50.0 |
| 女性役員比率 | % | 11.2 | 12.5 |
| 内部通報件数 | 件/年 | 0 | 0 |
| 社外に公表すべき重大な情報漏洩発生件数 | 回/年 | 0 | 0 |

※単体の正社員を対象に算出

ご留意事項

本資料は、当社グループをより深く理解していただくためのものであり、本資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。また、これらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている業績見通し等は、いずれも当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは市場環境や事業の進展などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績等は、本資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。



IR情報FAQページを開設しました
<https://www.tkp.jp/ir/faq/>